

金属製家具製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故 の 型	労働者 規 模
2017	2	15~16	当事者はプレス機械でセンター引出の曲げ加工作業を行っていた。その後方では他の作業者が台車に鉄板シートの積み替えを行っていたが、積んでいるシートの安定が悪く、滑り落ちそうになったので他の作業者がシートを支えに行った時に台車が動き、動いた台車がプレス作業当事者の右足後部分に接触した。不意のことに驚き、力んだ際に腰を痛めた。	33	921	19	300 ~ 499
2017	6	11~12	工場構内設置のコンテナ倉庫内の在庫調査のため、コンテナ扉を開け、高さ約1.3mのコンテナ床面までよじ登ろうとした時、手を滑らせて頭部より地面へ落下したため、頭部を打撲し、一部を裂傷した。（擦り傷の酷いものであり、縫ってはいない。）頭部より落下したため、意識は正常だったが救急搬送し、CTスキャンの結果は異常なしであった。	40	221	1	100 ~ 299
2017	7	10~11	素材課において鑄造機に段替えで交換した金型に不具合を発見したため、すぐに金型整備場に戻し、金型を分解しようと作業を開始した。天板と1枚目の中板をはずしワイヤで吊った状態で2枚目の中板をはずそうとハンマーでたたいてもはずれないため、下からたたいていたところ、突然中板がはずれ右手の甲に落下し負傷した。	56	364	4	50 ~ 99
2017	9	9~	塗装ラインで塗装ブース壁の塗料カス除去を脚立に乗って作業していた所、脚立を動かさず身を乗り出して隣壁のカスを除去しようとした為、脚立のバランスを崩して転倒した。床面より約1.5mの高さ	21	371	1	50 ~

		10	より落下した、救急外来で受診した所、眼球付近の骨折と腰の骨折が有り、経過観察の為、入院となった。					99
2017	12	13~14	折りたたみ用椅子の生産現場で、パイプをU字に曲げる機械の曲げ角度調整中、セレクトスイッチで自動から手動に切り替え、押しボタンにてプレスを下降させたところ、上型と下型の間に左手を置いていたため、左手人差し指を挟まれ、第一関節部より先が押し潰されて分離したため、縫合した。	56	154	7	~	99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html